

若者のまちづくりへの参加促進策の検討（案）

タイトル 若い世代のまちづくりへの参加を促進するには

東近江市市民協働推進計画 P18 第5章

基本施策① 人づくりと推進体制～育む～

- 若者が学び、実践できる事業の実施
- 若者に向けた情報発信
- 大学、研究機関との連携

課題 まちづくりに関わる団体（まちづくり協議会・市民活動団体等）を担う人材の次世代育成ができていない、世代交代が進まないという課題があります。

目的 東近江市の若者のまちづくりへの参画状況を把握し、現在の若者のおかれている現状やまち・まちづくりに対する考え方などもふまえた上で、市民協働推進計画に掲げられた若者が学び、実践できる事業、若者に向けた情報発信、大学・研究機関との連携について市民協働推進委員会で議論し、検討結果をまとめる。
検討結果を関係機関に情報提供し、それぞれの組織での事業実施の参考にしてもらう。

内容

ステップ1 現状分析

自治会・まちづくり協議会・市民活動団体などの組織で若者の参画状況についての現状を知る。

ステップ2 若者に期待すること

- ①今後の地域のまちづくりの中で、若者に期待することや、担ってほしい役割などについて語り合う。若者として想定する年代についても話し合う。
- ②具体的に当事者の若者に話を聞く場の設定について検討する。

ステップ3 当事者に聞く

若者にまちづくりに参画してもらう上でネックになっていることは何かを当事者に意見を聞く。

ステップ4 現状をふまえた検討

若者に参加してもらいやすい事業のあり方を検討する。

ステップ5 事業提案

若者が学び、実践できる事業の提案

日程：①平成28年8月30日（火）第13回市民協働推進委員会 ステップ1
②平成28年10月25日（火）第14回市民協働推進委員会 ステップ2-①
③平成28年12月6日（火）第15回市民協働推進委員会 ステップ2-②

開催場所：東近江市役所新館 3階会議室

12月6日（火） 話し合うメインテーマ

■ステップ2 若者に期待すること

具体的に当事者の若者に話を聞く場の設定について検討する。

8月30日（火）と10月25日に出た意見やアイデア（別紙意見まとめ）をもとに下記のことにポイントを絞ってグループで話し合ったのち、全体で、若者に話を聞く場の設定を決めます。

- 1 どんな年代の人に聞くか
- 2 若者に話を聞くテーマ（内容）
- 3 聞く場のしつらえ
 - ・形式（たとえば ワークショップ・ヒアリング・ディベート・円卓会議・パネルディスカッション・パーティ形式など）
 - ・会場
 - ・日程（時間）
- 4 広報・呼びかけ方法